

特別講演会 実施企画書(稟議書)

提出日: 令和 年 月 日

起案者:

宛先: 学校長殿 / 教頭殿 / 関係各所

1. 件名

特別講演会『時間の正義』の実施について(生徒指導・情報モラル教育の強化)

2. 目的

本企画は、現代の生徒たちが直面している「闇バイト」や「SNSトラブル」といった喫緊の課題に対し、外部講師による専門的かつ生徒の心に響く講演会を実施することで、以下の教育目標の達成を目的とする。

- 課題解決: 生徒が安易な誘惑に流され、自らの未来を損なう事態を未然に防ぐための、実践的なリスク管理能力を育成する。
- 規範意識の醸成: 「ダメだからダメ」という一方的な指導ではなく、生徒自身の合理的な判断に基づき、社会のルールを遵守する自律的な態度を育む。
- 人間的成長: 物事の本質を多角的に捉える思考力と、困難に立ち向かうための人間的な強さを養う。

3. 講演概要

項目	内容
演題(テーマ)	『時間の正義』～なぜ、不正は“絶対に”割に合わないのか～
講師	勝浦 悠太 氏 (WELLDONES OAKMOND 代表)
対象	第 学年 全生徒 (名)
希望日時	令和 年 月 日 () 時限目 (: ~ :)
場所	本校 体育館 (または 視聴覚室)

所要時間	50分(講演45分、質疑応答5分)
------	-------------------

4. 講師選定理由と紹介

本テーマを語る上で、勝浦氏は以下の点で最適任であると判断し、選定いたしました。

- 講師プロフィール概要：
 - 20歳まで本格的な勉強経験がなく、札幌市の消防士(レスキュー隊志望)を目指すも、面接で3度の不合格を経験。その挫折から一時はオンラインゲームの世界に没頭する。
 - 一念発起し航空自衛隊に入隊後、採用枠1名の狭き門を突破し、特別司法警察職員である航空警務官に任官。基地の保安・捜査任務に従事。
 - その後、高卒・独学で倍率46倍の幹部候補生試験を突破。将来は一等空佐(大佐)への道が確実視されるも、家庭の危機に際し、30歳でそのキャリアを自ら辞退し退職。
 - 現在は、鳶職人、タクシー乗務員という多様な現場で社会と人間に対する深い洞察を得ながら、その壮絶な実体験を基に講演活動を行う、唯一無二の“実践的哲学者”。
- 選定理由：
 - (専門性と信頼性) 生徒指導上の最重要課題である「闇バイト」等の問題に対し、警察官や教員とは異なる「元・特別司法警察職員」という立場から、生徒が聞く耳を持つリアルな指導が期待できる。
 - (共感性) 自身の挫折経験(不合格、ゲームへの逃避)から這い上がった物語は、多様な背景を持つ生徒たちの共感を呼び、心に響くメッセージとなる。
 - (教育効果) 単なる精神論ではなく、論理的で実践的な思考法を提示するため、生徒の主体的な行動変容に繋がりがやすい。

5. 期待される教育効果

本講演会の実施により、生徒に以下の具体的かつ肯定的な変化が期待できる。

- (規範意識の向上) 「ダメだからダメ」ではなく、「割に合わないからやらない」という、生徒自身の合理的な判断に基づいた、自律的な規範意識が育まれる。
- (情報モラル教育の実践) SNSに潜む危険性を当事者意識を持って見抜く力が養われ、加害者にも被害者にもならないためのリスク管理能力が向上する。
- (非認知能力の育成) 目先の誘惑に打ち勝ち、長期的な視点で自己の利益を考える「自制心」や「未来志向性」といった、数値化できない重要な非認知能力が育まれる。

6. 所要経費(予算)

項目	金額	備考
講師謝礼	0円	今回、初回モニター校として【無料】で実施いただけるとのこと。

交通費	0円	上記謝礼に含む。
合計	0円	

7. 添付資料

- 講師作成の講演企画書（詳細版）

8. 特記事項

- 今回の講演は、講師の実績作りのためのモニター講演であり、費用は発生いたしません。
- 講演後、今後の活動の参考とするため、教員および生徒（任意）からのアンケート協力の依頼がございます。

以上、本企画の実施にご理解ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。